

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
大刀洗町	大堰地区	令和3年3月26日	令和6年3月22日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	311.97ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	291.02ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	97.86ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	24.13ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	14.38ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	27.36ha
(備考)③ i、③ ii については、令和元年度アンケート調査時のものを使用。	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 10年後を見越した際に、70歳前後の耕作者が耕作する農地が多く存する。 ・ 他市町村からの出入作で水路の維持管理や農薬のドリフト問題が発生している。 ・ 近年災害に見舞われることが多くなり、今後も大きな被害を受ける可能性がある。 ・ 野生動物の食害等の問題が生じている。 ・ 畑地化促進事業により、集約がしにくい状況になってきている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農事組合法人を中心に、当該地区の農地利用は地域の担い手および新規就農者の受け入れを行っていくことで、集約化を図る。
農事組合法人が存していない地域に関しては、認定農業者および基本構想水準到達者といった経営体を中心となって担い、適宜新規就農者の受け入れ、対応する。

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
大刀洗町	本郷地区	令和3年3月26日	令和6年3月22日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	449.73ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	393.96ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	147.67ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	36.86ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	24.81ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	23.95ha
(備考)③ i、③ iiについては、令和元年度アンケート調査時のものを使用。	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・10年後に70歳前後の耕作者に耕作権がある農地が多く見受けられる。 ・営農組織も高齢化が進み、若手の担い手も限界となることがあればさらに農地の受け手が必要となる。 ・他市町村の出入作で水路の維持管理や農薬のドリフト、ジャンボタニシの被害、住宅地からの苦情等の問題がある。 ・近年災害に見舞われることが多くなり、今後も大きな被害を受ける可能性がある。 ・野生動物の食害等の問題が生じている。 ・耕作していない農地が増えつつある。 ・畑地化促進事業により、集約がしにくい状況になってきている。

注：「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

大規模な営農を行っている若手の認定農業者を中心に、集約化を行っていく。
雇用型施設農業を行っている農業者を中心に、農業で生計を立てることを目標とした農業者を育成しつつ、農地の集約を目指す。
農事組合法人が存している集落では、農事組合法人を中心に集落単位での集約化を目指し、それ以外の集落では認定農業者や認定新規就農者、基本構想水準到達者が中心となり、集約化を行っていく。

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
大刀洗町	大刀洗・菊池地区	令和3年3月26日	令和6年3月22日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	525.19ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	490.20ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	169.47ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	34.55ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	28.44ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	35.02ha
(備考)③ i、③ iiについては、令和元年度アンケート調査時のものを使用。	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者の高齢化が見込まれ、受け皿となる担い手が必要となる。受け皿としては、法人の2組織がまず挙げられるが、担い手となる法人において事務方の人員の不足が懸念される。 ・ 度重なる災害の影響で経営にダメージを受けている経営体が存する。 ・ 他市町村の出入作で水路の維持管理や隣接農地からの農薬ドリフト問題がある。 ・ 近隣の住宅地との兼ね合いで農業経営に支障が生じるなどしている。 ・ 近年災害に見舞われることが多くなり、今後も大きな被害を受ける可能性がある。 ・ 野生動物の食害等の問題が生じている。 ・ 除草剤等の薬剤に対し、悪印象を持たれることができたため、農業への理解を求めていく必要がある。 ・ 畑地化促進事業により、集約がしにくい状況になってきている。

注：「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当該地区は、農事組合法人2経営体を中心に農地の集約を行っていく。そのなかで、地域の担い手および、新規就農者の受け入れを促進する。
認定農業者や畜産関係農家を中心に農地の集約化を図り、適宜新規就農者を受け入れていく。
高収益作物を作付している若手農業者を中心に、経営の安定化と農地の集約化を図る。

地区名	属性	経営体数	現在経営面積	将来経営面積
大堰	認農	53	88.13ha	95.32ha
	認農法	8	43.05ha	60.91ha
	認就	0	0.00ha	0.00ha
	到達	11	20.35ha	22.72ha
	集	1	0.62ha	0.62ha
	中心	3	1.81ha	1.75ha
	育成	0	0.00ha	0.00ha
	計	76	153.96ha	181.32ha
本郷	認農	48	198.55ha	211.27ha
	認農法	10	25.61ha	35.74ha
	認就	0	0.00ha	0.00ha
	到達	4	5.28ha	5.28ha
	集	5	52.69ha	52.69ha
	中心	7	4.14ha	4.02ha
	育成	2	1.43ha	2.65ha
	計	76	287.70ha	311.65ha
大刀洗・菊池	認農	57	210.77ha	235.57ha
	認農法	11	150.23ha	157.10ha
	認就	0	0.00ha	0.00ha
	到達	15	35.16ha	38.07ha
	集	1	9.16ha	9.16ha
	中心	3	4.53ha	4.53ha
	育成	1	0.87ha	1.31ha
	計	88	410.72ha	445.74ha

※ 属性については以下のとおりです。

「認農」：個人の認定農業者

「集」：営農集団（集落営農組織等）

「認農法」：法人の認定農業者

「中心」：中心となる経営体

「認就」：認定新規就農者

「育成」：今後育成すべき農業者

「到達」：基本構想水準到達者（見込みを含む）